

すべて認定しました



9月に行われた体力測定会、「健康づくり・チャレンジポイント事業」の対象事業

平成 25 年度特別会計決算額

国民健康保険	歳入	47億7043万円
	歳出	45億7420万円
後期高齢者医療	歳入	3億0878万円
	歳出	3億0499万円
下水道事業	歳入	4億8714万円
	歳出	4億6819万円
農業集落排水事業	歳入	9085万円
	歳出	8603万円

水道事業会計決算額

収益的収支	収入	8億9175万円
	支出	8億3305万円
資本的収支	収入	4447万円
	支出	3億1398万円

※金額の単位は万円（未満切捨）

下水道事業 特別

使用料収入は、ホンダ  
寄居工場の稼働で大幅増

【決算の概要】 公共下水道施設整備事業については、寄居駅南地区・男衾駅周辺の合計7・4ヘクタールの面整備を実施。これにより整備面積は認可面積の89・1%を達成しました。維持管理事業として、経年劣化により機能低下した玉淀及び樋ノ下マンホールポンプ場のポンプ制御盤内の電気設備交換等を行い、管路施設の安定稼働に努めました。下水道使用料収入は、ホンダ寄居工場の稼働に伴い、対前年度比27・1%増加の1億1279万円となりました。

国民健康保険 特別

被保険者の高齢化が進み  
医療費は引き続き増加

【決算の概要】 国民健康保険は、被保険者の高齢化や医療技術の高度化などにより、医療費が増加する一方、低所得層の加入者も多く依然として厳しい運営となっています。

町では伸び続ける医療費の適正化のため、チャレンジポイント事業など各種の健康づくり事業を行ってきました。平成25年度の歳出決算額は、前年度に比べ5パーセント増の45億7420万円。一般会計から2億6000万円の法定外繰り入れを行いました。

後期高齢者医療 特別

被保険者数増加も、医療費は微増にとどまる

【決算の概要】 町では、運営主体である埼玉県後期高齢者医療広域連合と連携しながら、被保険者証の引き渡し、保険料納付通知書の送付と徴収、給付申請などの窓口事務を行っています。高齢化の進展に伴い、被保険者数は年間平均で前年度比2・1%増の4427人。医療費は1人当たり前年度比0・4%増の78万6359円という状況になりました。

農業集落排水事業 特別

施設の適切な維持管理に  
より水質の安定に努める

【決算の概要】 今市地区処理施設では経年劣化が現れたプロワの交換、また用土中央地区処理施設では機器の延命化を図るため、プロワのオーバーホール等の整備を行い、施設の適切な維持管理及び水質の安定に努めました。平成24年7月供用開始の折原地区処理施設では、地元維持管理組合と連携し接続率の向上に努め、前年度比16・1%増の45・3%になりました。

水道事業会計

配水量、収益でホンダ効果

【決算の概要】 地方公営企業会計制度が46年ぶりに大幅に見直されたため、25年度は水道会計システムの改修を行いました。またホンダ寄居工場が本稼働したことにより、年間総配水量は18万2711立方メートル増の498万4999立方メートルとなり、水道事業収益は前年度比1944万円増加し、当年度純利益は4880万円となりました。施設整備では、老朽管更新延長2067メートル、配水管布設延長2870メートルを実施しました。

国民健康保険 特別会計

すべての人が  
医者にかかれるよう

【賛成】 3年連続黒字決算は評価できる

鈴木詠子議員  
多額の法定外繰り入れを受けながらとはいえ、1億9600万円の黒字をもたらしたことは評価できる。この結果に甘んじることなく、町民の健康づくり対策や特定健診受診率の向上、国保税の収納確保に取り組みをいただき、国保財政の健全化のため、さらなる執行の努力を要望する。

田母神節子議員  
国民皆保険は、自由と民主主義の国アメリカでも未だ成立していない世界に誇る制度である。設立当初より国庫補助の削減により住民負担が増え、保険税を滞納している方が多く、短期保険証45名、資格証明書3名。収納率が91.36%とアップした要因の一つが差し押さえ（196件）で、5717万5000円。年1万円の保険税の値下げを要求する。

後期高齢者医療 特別会計

健全運営のため、さらなる努力を

【賛成】

神田 崇議員  
後期高齢者医療の加入者や家族に対し、親身な対応を心掛けていただくとともに、埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携を密にし、後期高齢者医療制度の健全な運営のため、さらなる努力を執行に要望する。

75歳以上の医療費は無料に

田母神節子議員  
毎年100人からの高齢者が新規加入しているが、年々加入者の保険料収納率は低傾向。69人の滞納者も出ている。長年働き続けた方々の医療費は無料にし、「おかしいな」と思ったときに、安心して医者にかかるよう、医療費の抑制のためにも早期発見・早期治療が必要。またご近所が声をかけあって健康な生活ができる保障が必要。

水道事業会計

利益は住民に還元を

【反対】

田母神節子議員  
水道事業会計は4880万9384円の利益を上げている。要因はホンダの配水量増加によるもので、今後も安定した配水量と収益が見込まれる。水道事業会計の本質「公共福祉に寄与する」立場で、利益は住民に還元すること。いまだ実現されていない10立方メートルの基本料金の1日も早い設定を。

安定給水と健全経営を評価

【賛成】

峯岸克明議員  
水道は町民生活において、また地域の産業・経済活動を営む上で必要不可欠な基盤施設である。施設整備では、漏水事故の防止や震災対策を踏まえた老朽管の更新事業を計画的に進めていることが認められる。また、決算については黒字決算であり、利益の処分については、全額減債積立金とすることは健全経営の観点から妥当である。

平成 26 年度補正予算を可決

※( )内の数字は現行予算に対する増減率です

増額▲補正しました

一般会計 (3回目)	1億2919万1000円 (1.2%増)
国民健康保険 特別 (1回目)	6289万1000円 (1.4%増)
後期高齢者医療 特別 (1回目)	378万3000円 (1.2%増)
下水道事業 特別 (1回目)	125万5000円 (0.3%増)
農業集落排水事業 特別 (1回目)	552万4000円 (6.5%増)

プロワ…下水処理場では、微生物の働きで下水を浄化する「活性汚泥法」が最も多く採用されています。微生物を含む活性汚泥が活動・呼吸するため空気を送る機械がプロワです。

法定外繰り入れ…国保会計の歳出に対する財源不足を補うために、一般会計から投入される繰入金のこと。町の財政状況を考慮しながら措置されます。

お元気で 寄居議会です No.74 (2014年11月1日発行)

お元気で 寄居議会です No.74 (2014年9月定例会号)

次のページは「町に考えを聞く!」一般質問